

寄宿舎「あじま寮」について

本校寄宿舎には長野県下の養護学校では珍しい“寮”がついた「あじま寮」という愛称があります。「寮」という響きからはとかくひと昔前のイメージがつきまといがちですが、「あじま寮」は地域の方々からもあたたかく見守られ、声をかけられ、我が子同様に愛されています。また、ここを巣立った仲間にとっても、「あじま寮」と口にする度なつかしい思い出と共に、第二の故郷（ふるさと）のように感ずるところのようです。

1 教育目標

ひとりひとりの生活の質を高めながら、健康的な心と体をつくり、生きる力を育てる。

2 入舎生の様子

- (1) 小学部から高等部まで年齢層が幅広く、家庭環境(生育歴)の違いもさまざまです。
- (2) 生活の流れや区切りを理解する子から、悩みながら自分で生活を組み立てる子まで、生活年齢や発達年齢はそれぞれさまざまです。
- (3) 入舎目的は通学を保障するだけでなく、舎の教育目標にそって入舎している舎生もいます。
- (4) グループ活動、自治的な活動、趣味の活動、あるいは、あじまっこ祭り、お楽しみ会などの大きな行事を通して意欲や自主性を育み、生きる力を育てます。
- (5) きぼう部屋での生活を通して、食事作り、金銭管理など社会生活に必要な知識を学び、生活経験を広げます。

3 生活づくりをしていく上で大切にしたいこと

- (1) 年齢層の違い、家庭環境や生育歴の違い、障害の特徴などを大切に考え、舎生の姿を柔軟にとらえた生活づくりを進めます。
- (2) それぞれの舎生のねがいや課題をもとに、支援の方法を考えます。
- (3) 舎生の実態や、舎生同士の関わり合いを大切にして、グループ編制、部屋編制を考えます。
- (4) 日々の活動では、舎生の興味・関心を大切にし、意欲を持って自主的、主体的に取り組めるように考えます。
- (5) 寄宿舎での活動や人との関係が、将来の生活の豊かさへとつながるように考えます。
- (6) 集団生活を通して社会的マナーを学ぶとともに生きる力を育てます。
- (7) 生活全体を捉えるために、家庭や学部、各関係機関との連携を密にしています。

4 年間計画および日課

(1) 年間計画

| 月 | 行事計画 | 自治活動 | 自治活動(通年) |
|----|--------------|-----------|------------------|
| 4 | | 顔合わせ会 | |
| 5 | 端午の節句 | 出発の会 | 舎生一人ひとりの誕生日会 |
| 6 | しょうぶ湯 | | みんなで話す会 |
| 7 | 七夕会 | | ビデオシアター マナー講座 |
| 8 | | | |
| 9 | あじまっこまつり | 中間慰労会 | 和太鼓・趣味の同好会 |
| 10 | お月見会 | | アルミ缶回収・奉仕活動 |
| 11 | 収穫祭 | | |
| 12 | ゆず湯 お楽しみ会 | 作品展 | 避難訓練 |
| 1 | | スポーツ同好会大会 | 学期末大掃除 |
| 2 | 節分 | 太鼓発表会 | |
| 3 | ひな祭り お別れ会 | | |

(2) 日課

| | 開 舎 日 |
|-------|-------------------------------|
| 6:30 | 起床 |
| 7:30 | 朝食 |
| 8:50 | 登校 |
| 15:10 | 下校(小・中学部) |
| 30 | 下校(高等部) グループの活動 行事・自治活動 |
| 17:30 | 夕食 |
| | 入浴 |
| | 洗濯 |
| | 自由活動 |
| | 就寝 |

※第2・第4土曜日：和太鼓同好会の支援(保護者会主催)

※第2・第4日曜日：「サロン花の木」の開催(卒業生支援)